

鳥取県 八頭町

●鳥取県八頭町

たくましい「やずっ子」を育む、環境にやさしい給食共同調理場

【贈呈理由】 経済性と環境性を考慮したヒートポンプ・蓄熱システムを導入し、省エネルギーを実現



八頭町学校給食共同調理場

鳥取県東南部に位置する自然豊かな八頭町は、2005年に郡家町・船岡町・八東町が合併して誕生した町である。学校給食について、当初は旧町単位の共同調理場で従来どおりに学校給食を供していたが、保護者ニーズの高い米飯給食ができない施設があることや老朽化している施設もあることから、町内の子どもたちに同じメニューの給食を供給できないといった問題を抱えていた。

次代を託すたくましい「やずっ子」を育

てるためには、地域間で格差のない安全で安心、おいしい給食を供給することがきわめて重要との認識から、新しい学校給食共

同調理場の建設がスタートした。

八頭町では「自然と調和したまち」をまちづくりの基本理念のひとつに掲げており、共同調理場もそうした考えに沿って建設された。給湯設備には環境にやさしい業務用エコキュートを導入し、省エネルギー・省コストを実現。さらに電化厨房を導入することにより、衛生的で快適な調理環境を整えることができた。

12年に竣工した八頭町学校給食共同調理場は、現在、町内11校に給食を供し



ており、町が力を入れる食育の核となる施設として、「やずっ子」の健やかな成長を支えている。

八頭町学校給食共同調理場

所在地:鳥取県八頭郡八頭町郡家559

建築設計:株式会社白兔設計事務所

建築施工:やまこつ・岡島・中田特定建設工事共同企業体

蓄熱設備設計:株式会社白兔設計事務所

蓄熱設備施工:大和設備(株)

延床面積:1,209㎡

竣工:2012年(新設)

●蓄熱設備概要

業務用エコキュート 40kW×5台〔イシバシエンタープライズ〕 貯湯槽:27.9㎡